

私たちが目指すダイバーシティ研究環境とは・・・

ダイバーシティ研究環境推進本部長 藤井佐知子

本学は、平成24年に男女共同参画推進室を設置して以来、学内の男女共同参画意識の醸成と共に、女性研究者の仕事とライフイベントの両立支援に取り組んできました。その結果、女性教員比率が平成30年度には18.3%と、9年間で5.3ポイント上昇しました。学内におけるワークライフバランスに関する意識も徐々に定着し、働きやすい職場環境づくりをめざす機運も熟してきたように感じます。

このたび「文部科学省平成30年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択されました。海外派遣等を通して研究力をつけた女性教員を上位職に登用するという事業の趣旨をふまえ、これまでの取組を継続しつつ、さらに高い目標の達成に向けて事業を展開していきたいと思えます。

女性活躍のための取組は、「ダイバーシティ」の実現という観点から非常に重要なことです。性や年齢、国籍・民族など多様な「知」と「人材」が集まることにより新しい発見や価値が生まれ、そのことが学生にとってもよい影響をもたらされると思えます。こうした考えから、新事業採択に伴い、組織を再編して「ダイバーシティ研究環境推進本部」を立ち上げました。＜地域の知の拠点＞をめざす宇都宮大学は、この事業を機に、あらゆる場でのダイバーシティ環境を整備し、一人ひとりがどのライフステージにおいても、その個性と能力が存分に発揮できるような大学へと発展させて参りたいと思えます。

◆宇都宮大学男女共同参画・女性研究者支援のあゆみ◆

- 2011年 4月 「宇都宮大学男女共同参画宣言」発表
- 2012年10月 「男女共同参画推進室」設置
- 2013年 8月 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択（2013年度～2015年度）
- 11月 「女性研究者キャリア支援室」設置
- 2014年 3月 「ワークライフバランス相談窓口」設置
- 4月 「研究支援補助員配置制度」、「託児支援制度」開始
- 2015年 6月 「女性教員採用特別制度」開始
- 9月 「男女共同参画週間」開始
- 2016年 1月 「メンター制度」開始
- 4月 宇都宮市男女共同参画推進事業者「きらり賞」受賞
本学の自主事業として女性研究者支援事業を男女共同参画推進事業として継続、託児支援制度の支援対象を職員にも拡大
- 9月 「とちぎ女性活躍応援団」運営団体・会員団体として登録
- 2018年10月 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択（2018年度～2023年度）
- 11月 「ダイバーシティ研究環境推進本部」設置
「女性教員海外派遣制度」開始

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
(2018年度～2023年度)

目的

女性研究者の研究力・リーダーシップ力向上のための重層的支援ならびに研究とライフイベントの両立支援により、女性研究者のリーダー育成のための取組を推進します。

目標と行動計画

- 2023年女性の教員比率 **21%**
- 新規採用における女性の教員比率 **30%**
- 女性教員の上位職階比率を教授等 **18%**、准教授 **21%**
- 女性教員を対象とした海外派遣制度の拡充
- 大学運営に関わる女性比率の向上

取組の概要

- 既設の男女共同参画推進室に加えて女性リーダー育成オフィスを新設し、両者をダイバーシティ研究環境推進本部の下において総合的に女性研究者支援を行っていきます。
- 女性教員採用の各部署への働きかけを通じて、多様なポジティブアクションを推進します。
- 女性研究者の研究力向上を図り、その成果をもとに上位職階への登用促進を実現する女性研究者の「キャリアパスプログラム」を開発し、実施します。

宇都宮大学
ダイバーシティ研究環境推進本部
男女共同参画推進室・女性リーダー育成オフィス

〒321-8505
栃木県宇都宮市峰町 350
峰キャンパス 5号館C棟3階
TEL/FAX 028-649-5151
E-mail gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp



宇都宮大学

ダイバーシティ研究環境推進本部

男女共同参画推進室・女性リーダー育成オフィス

Utsunomiya University

Diversity Research Environment Promotion Headquarters

Gender Equality Promotion Office・Female leader training office



●実施体制図

学長

外部アドバイザー・ボード

栃木県男女共同参画センター 宇都宮市男女共同参画課
栃木女性活躍応援団への協力企業 大学教授

ダイバーシティ研究環境推進本部

【本部長：理事・副学長1名、コーディネーター、事務補佐員】

運営委員会

男女共同参画推進室

意識啓発

- ・男女共同参画週間
- ・男女共同参画集中講義
- ・出前講座
- ・情報交換の場作り
- ・情報発信
- ・セミナー・シンポジウム開催
- ・男女共同参画意識調査

連携機関

- 地域創生推進機構
- 大学教育推進機構
- 栃木県・各市町男女共同参画課
- 栃木県男女共同参画センター

職場環境

- ・産後休暇や育休後の復帰支援
- ・一時託児支援
- ・研究補助員制度
- ・ワークライフバランスの推進
- ・アンケート・聴き取り調査
- ・次世代育成支援に関わる諸制度の運用
- ・ベビーシッター制度の新設
- ・メンター派遣制度

連携機関

- まなびの森保育園

女性リーダー育成オフィス

・キャリアパスプログラム

- ①研究力向上支援
- ②研究遂行支援
- ③海外派遣・短期留学制度
- ④上位職登用施策
- ⑤トップリーダー研修

- ・女性研究者ネットワークの形成による共同研究の推進
- ・女性教員採用特別制度の運用
- ・外部資金獲得支援
- ・海外派遣制度の拡充
- ・帰国後の研究フォローアップ&成果報告会
- ・トップリーダー研修会の開催

女性研究者キャリアパスプログラム



連携機関

- 産学イノベーション支援センター URA 室
- キャリア教育・就職支援センター
- 留学生・国際交流センター
- 栃木県・各市町男女共同参画課
- 教育委員会
- 栃木県男女共同参画センター

相談窓口 (専任アドバイザーによるカウンセリング・情報提供・アドバイスなど)

相談連携機関

- ハラスメント防止委員会
- 保健管理センター
- 学生相談・発達障害相談
- キャリア教育・就職支援センター
- 栃木県・宇都宮市男女共同参画課
- 栃木県男女共同参画センター
- NPO ウイメンズハウスとちぎ

ダイバーシティ研究環境推進本部長

地域デザイン科学部・国際学部・教育学部・工学部・農学部・学内共同施設・大学教育推進機構・地域創生推進機構

●海外派遣制度を利用して

派遣先：チェコ科学アカデミー高分子化学研究所
国：チェコ共和国
期間：2019年1月26日～3月16日
産学イノベーション支援センター
非常勤研究員 **高山友理子さん**



宇都宮大学女性教員海外派遣制度による支援を受け、チェコ科学アカデミー高分子化学研究所(Institute of Macromolecular Chemistry, Czech Academy of Sciences: IMC)で研究する機会をいただきました。

私は、高分子ゲル繊維を独自の紡糸技術で合成し、細胞の接着素材への応用、微生物機能の制御に向けたバイオゲルファイバーの開発を目指しています。IMCでは、刺激応答性ナノコンポジットゲルを専門とする研究グループに加わり、熱感受性高分子のブレンド水溶液の相分離を利用して新規ヒドロゲルフィラメントを合成し、物性評価からその形成機構を解析しました。海外の研究機関でポリマーサイエンスに関する研究者やエンジニアと議論しながら自分の研究を推進する貴重な経験となり、国境を越えた多様な専門分野の研究者とのネットワークも広がりました。私の持ち込んだテーマを自由に研究できる環境で、研究グループの独自の技術と私のアイデアを融合することでこれからの展開も楽しみです。



・実際にゲルフィラメントを合成しているところです。



海外派遣を支えてくださった宇都宮大学関係者の皆様、快く受け入れてくださったIMCの皆様にご心より感謝致します。

・指導をしてくださったMatějka先生(Dr. Libor Matějka)とMatějka先生のもと教え子で常勤スタッフのStrachota先生(Dr. Beata Strachota)。

●女性リーダー育成オフィスを新設しました

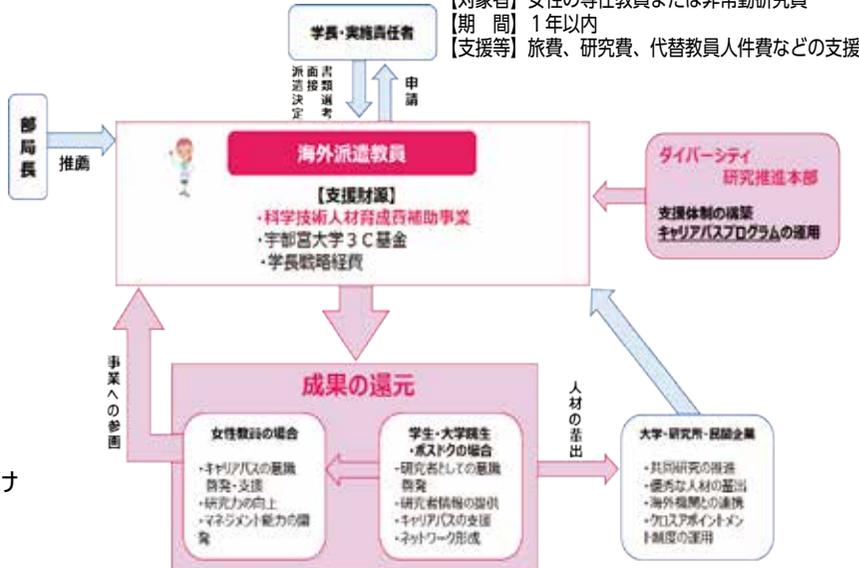
本事業では新たに女性リーダー育成オフィスを設置し、新設の女性教員海外派遣制度の活用やキャリアパスプログラムの開発・実施により、女性研究者の研究力向上と上位職登用を支援します。

■女性研究者キャリアパスプログラム

- ①研究力向上支援
→留学支援、各種セミナー等による研究力向上
- ②研究遂行支援
→外部資金獲得支援・相談、優秀女性教員の顕彰
- ③海外派遣・短期留学制度
→研究力の推進強化
- ④上位職登用施策
→高い研究力と意欲のある上位職の育成と意識付け
- ⑤リーダー・トップリーダー研修
→マネジメント力育成・大学管理職への意識改革

■女性教員海外派遣制度

【対象者】 女性の専任教員または非常勤研究員
【期間】 1年以内
【支援等】 旅費、研究費、代替教員人件費などの支援



成果の還元

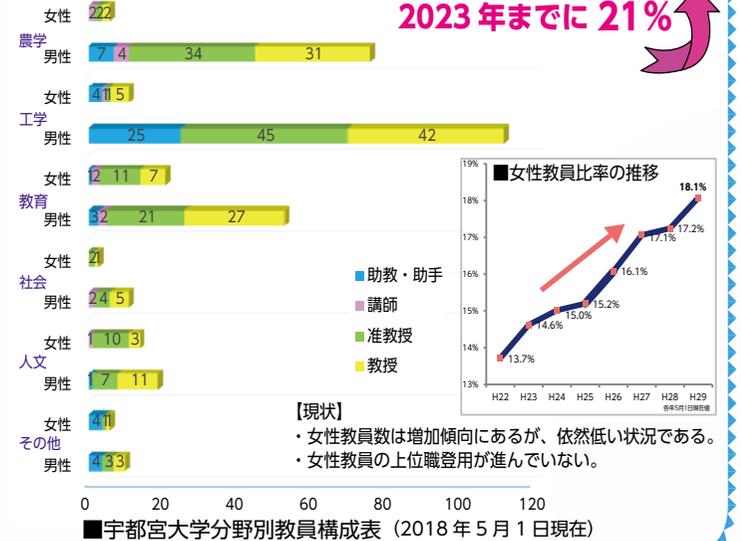
- 女性教員の場合
 - ・キャリアパスの意識啓発・支援
 - ・研究力の向上
 - ・マネジメント能力の開発

- 学生・大学院生・ポスドクの場合
 - ・研究者としての意識啓発
 - ・研究者情報の提供
 - ・キャリアパスの支援
 - ・ネットワーク形成

- 大学・研究所・民間企業
 - ・共同研究の推進
 - ・優秀な人材の輩出
 - ・海外機関との連携
 - ・GPI&アポイントメント制度の運用

●女性教員の増加を目指します！

2023年までに21%



【現状】
・女性教員数は増加傾向にあるが、依然低い状況である。
・女性教員の上位職登用が進んでいない。